

<b>シメトリン・モリネート・MCPB 粒剤</b> <b>マメット SM</b> <b>(1キロ粒剤 / ジャンボ)</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ  <b>原体メーカー：</b> 日本化薬、協友アグリ、日本化薬
<b>成分：</b> シメトリン〔トリアジン系 PRTR・1種〕 .....4.5% (粒剤), 4.5% (ジャンボ) モリネート〔カーバメート系 PRTR・1種〕 .....24.0% (粒剤), 24.0% (ジャンボ) MCPB〔フェノキシ酸系〕 .....2.4% (粒剤), 2.4% (ジャンボ)	<b>性状：</b> 灰色細粒(粒剤) 褐色粒状 水溶性パック入り1パック50g(ジャンボ)  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

## 【品目特性】 .....

### 〈共通〉

● 3つの有効成分の相乗効果で一年生雑草やホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカなどの多年生雑草にも高い防除効果を示す。また、藻類、ウキクサに対しても高い効果を示すため、水温の低下を防ぐと共に藻類による表層はく離も防止する。

● 3.5葉期のノビエにも優れた効果を示すので、取りこぼしのヒエの防除にも役立つ。

● 前処理剤との体系処理で、広い処理適期幅を有し、また、残効性も長いので、一発処理剤で防除困難なガラガラ発生の雑草に対しても高い効果を示す。

● 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 〈ジャンボ〉

● 投げ込み処理により省力的な中期除草が可能。

## 【使用上のポイント】 .....

### 〈共通〉

● 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

● ウリカワには効果が劣ることがあるので、ウリカワ多発田では使用しない。

● 雑草の発生初期に有効なので、稲が十分活着してからノビエの3.5葉期までに時期を失しないように使用する。

### 〈粒剤〉

● 直播水稲で使用する場合は、稲5葉期～ノビエ3.5葉期までに散布する。

● オモダカに対しては本剤のみでは十分な効果が得られない場合があるので、必要に応じて有効な後期除草剤との体系で使用する。

● 田植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で本剤を使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失せず適期に散布するよう特に注意する。

### 〈ジャンボ〉

● 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態を保つ。

● 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	ジャンボ
ホタルイ	5葉期まで	3葉期まで
ウリカワ	6葉期まで	
ミズガヤツリ	4葉期まで	
オモダカ	5葉期まで	—
ヘラオモダカ	4葉期まで	3葉期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生期まで	発生始まで

## 【薬効・薬害等の注意】 .....

### 〈共通〉

● 稲5葉期末満の場合は使用をさける。

● 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

● 適用作物（水稲）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

● 適用外作物（畑作物、きゅうり）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

# 【安全対策上の注意】 .....

## 〈共通〉

- 魚類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用する。

## 〈粒剤〉

- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

## 〈共通〉

## 〈粒剤〉



# 【適用と使用法】 .....

## ①マメット SM1 キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後15日 （稲5葉期以降）～ ノビエ3.5葉期 但し、 収穫60日前まで	1 kg	湛水散布	1回 ※
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ	稲5葉期～ ノビエ3.5葉期 但し、 収穫60日前まで		湛水散布又は 無人航空機に よる散布	

※シメトリンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※モリネートを含む農薬の総使用回数：1回

※MCPBを含む農薬の総使用回数：2回以内

## ②マメット SM ジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後20日 （稲5葉期以降）～ ノビエ3.5葉期 但し、 収穫60日前まで	小包装 （パック） 20個 （1000g）	水田に小包装 （パック）のまま 投げ入れる。	1回 ※

※シメトリンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※モリネートを含む農薬の総使用回数：1回

※MCPBを含む農薬の総使用回数：2回以内